

# 令和3年度 認定こども園 高松東幼稚園 自己点検・自己評価（公表シート）

実施期日〈令和4年3月25日〉

## 1. 本園の教育・保育目標

○建学の精神 「研究的幼稚園」「理想的幼稚園」「非営利的幼稚園」

○教育・保育目標 「じょうぶな身体を育てる・豊かな心を育てる・創造する力を育てる」

○育てたい子ども像

- ・少しのことで疲れず、友達といっしょにしんぼう強くよく考えて遊ぶ子
- ・きちんとすることとのびのびすることとの両立ができる子
- ・基本的な生活習慣、態度を身に付け、自分に対する自信をもつことができる子

○保育者の基本的姿勢

- ・一人ひとりの子どもが“大切にされている”と実感できるような子どもと保育者の信頼関係を構築すること
- ・時代の変化に対応する教育・保育内容を創意し、それを計画的に環境として構成すること
- ・保育者の特性を生かし、協力体制を生かすチーム保育により、よりきめの細かい保育を目指すこと

## 2. 本年度の重点項目とその設定理由

### 1. 幼保連携型認定こども園としての運営

- 0～5歳児までの連続性のある教育・保育の充実
- 2・3号認定児の教育・保育課程の確立と実践
- 施設・設備の整備
- 人材の確保

（設定理由）昨年度までと同様に0～5歳児までの連続性のある教育・保育課程の確立に努める。特に0～2歳児と3～5歳児のつながりを園全体の運営においても意識しなければならない。安全面を重視した施設・設備の整備を更に進めていく必要がある。長時間保育や土曜保育にも対応する為に十分な保育教諭の人数確保も必要である。

### 2. 教育・保育の質の向上

- 教育・保育課程、環境の見直しと改善
- 園内・外研修の充実

（設定理由）コロナ禍で多くの園行事や子どもたちの活動が制限される状況が続いている。感染拡大防止に尽力しながらも教育・保育の質を下げる事が無いよう、一つ一つ実施方法などを熟慮し工夫していく必要がある。多様な知識・技能を身に付けられるような研修への参加機会を設け、全体のレベルアップを図らなければならない。

### 3. 子育て支援事業の推進

- 様々な保育ニーズ(長時間保育・土曜保育)への対応

（設定理由）核家族、共働き世帯の割合は更に増しており、1号認定児の一時預かり保育・朝夕の延長保育・土曜保育等、各家庭の事情に応じた時間の保育が求められている。

### 3. 重点項目の取組み状況と自己評価

重点項目		取組み状況	自己評価 (5段階)
1	0～5歳児までの連続性のある教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」を基に、0～5歳児までの連続性のある教育・保育課程の見直しに努めた。0～2歳児クラスの保育教諭と3～5歳児の保育教諭が話し合う機会はなかなか作れず、十分に連携をとることが難しい。</li> <li>・昨年度から引き続き感染症対策を講じたうえで、年間カリキュラムに沿って出来る限りのことを実践していった。各種行事についても、前年の反省や気付きを生かしながらコロナの感染拡大状況に応じて開催方法などを工夫して実施した。</li> </ul>	3
	2・3号認定児の教育・保育課程の確立と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1号認定児の一時預かり保育利用者が多くなり、すみれ組の教育・保育については、人数の増加に対応しながらどうやって安全に過ごすかが最優先課題となっている。家庭的な雰囲気大切にしながら子どもたちがより良い経験を得られるように、各年齢に応じた遊びや活動を計画した。十分な人員配置が課題。</li> <li>・3号認定児の教育・保育については、引き続き、保育アドバイザーの秋山通子先生からご指導いただき、環境や内容の細かいところまで改善していている。</li> </ul>	2
	施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止対策として空間除菌装置の台数を更に増やし、全ての部屋で稼働させた。保育終了後には、手が触れる箇所や玩具をアルコール消毒するなどした。3歳以上児はほぼ全員が室内ではマスクを着用。常に室内換気も十分に行っている。</li> <li>・通園バスを1台更新した。安全な運行の為に、残りの2台も近いうちに更新する必要がある。</li> <li>・南駐車場出入り口に看板や標識を設置し、保護者や職員に安全運転を促した。ある程度の効果があったと思われる。</li> <li>・第2園庭に砂場を設置したことにより、十分に遊び込める場となってきた。また、放送スピーカー設置したことで園内放送がしっかり聴こえるようになり、安全・危機管理の面の改善につながった。</li> </ul>	4
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に常勤保育教諭1名が退職し、すぐに募集をかけたが3月まで補充できなかった。他の教職員が輪番で補いながら対応した。</li> <li>・常勤者の産・育休期間に非常勤者を代替としたが無理があり、周りの教職員の負担増となった。人事に関する大きな課題。</li> <li>・次年度に向けては、新卒者4名を確保することができた。</li> </ul>	2
2	教育・保育課程、環境の見直しと改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と同様に感染症対策を最優先しての生活となり、既存の教育・保育課程通りには行えない部分が多々あった。各種行事に関しては、感染拡大防止対策を十分に施してある程度実施できた。新たな気付きを今後の教育・保育の改善に役立てていく。</li> <li>・各保育室でのタブレットの利用など、ICTの活用等にも積極的に取り組んでいきたい。</li> </ul>	3

	園内・外研修の充実	・新型コロナの影響により実施できていなかった公開保育形式の園内研修を今年度は実施した。大勢で集まっていた協議はできなかったが、書面にて意見や感想を伝えることで各保育教諭の意識が高められた。オンラインで行われるものが多かった園外研修にも、可能な限り多くの保育教諭が参加し、知識を深めていった。	4
3	様々な保育ニーズへの対応	・昨年度と同じく、2歳児を18名ずつの2クラスに分けて運営した。24名から定員を減らした1歳児18名もゆったりと過ごすことができている。0・1・2歳児合計で、定員を満たす66名が常時在籍した。 ・1号認定児の一時預かりの利用者は更に増えてきた。すみれ組の年長児を南館2階の保育室2部屋で過ごすようにしたことで、全体的にゆったりと過ごせるようになった。午睡用の布団の管理場所など、設備面での課題が多くある。	3

#### 4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設・設備の整備	・低年齢児も安心・安全に十分身体を動かして遊べるような保育環境を確保するために、第2園庭の整備を進める。植樹などをして自然環境の充実も図る。 ・すみれ組(2号認定児の午後保育、1号認定児一時預かり保育)の人数の増加に対応する為の保育室、ロッカー等の設備を整える。
人材の確保	・定員を満たす人数を受け入れ、安心安全に子どもたちが過ごせるよう教職員を配置する。早期に新卒採用活動を開始し、優秀な人材確保に努める。 ・長時間の保育や土曜保育のニーズに対応したうえで、教職員の勤務に無理が生じないようにする必要がある。次年度も産休・育休保育教諭の代替者が必要となりそうなので、計画的な人材確保に努める。
教育・保育内容の改善	・2・3号認定児の教育・保育については、より具体的な教育・保育課程を確立させ、質の向上を図る必要がある。 ・既存の教育・保育課程を基本に据えながらも、より良いものを目指し、見直しや改善をしていく。各活動や園行事の在り方等についても再検討し、精選していく。
子育て支援事業の拡充	・従来から実施している「たんぼぼ」(親子参加型活動)や「TJ教室」(未就園児教室)の内容をより充実させ、可能な限り回数を増やす。入園希望者の見学も兼ねて、園庭開放は0歳児から希望に応じる等様々な人が来園できる機会をつくる。 ・在園児以外の一時的預かり保育や学童保育、土曜日の園庭開放なども検討し、地域の子育て支援施設としての機能を探っていく。
地域連携の促進	・高松市主催の各種研修会の機会等に積極的に市職員、また小学校や他園の先生方と情報交換をし、相互理解を図る。特に、近隣の小学校・保育所との連携を深めていきたい。 ・ホームページ等で園の情報を発信し、地域の高齢者との交流会を実施したり園行事にお招きしたりすることで、本園への理解を促進していく。多くの人に園のことを知ってもらう為に、ホームページをもっと有効活用する。

自己評価・自己点検	<ul style="list-style-type: none"><li>・運営と教育・保育、両面からの適切な評価・点検を行う。PTAが実施する保護者アンケートの結果も園評価の一つとして考え、改善に役立てていく。今後は、その他の第三者評価の実施も検討していく。</li><li>・県と市からの監査指摘事項を運営の改善に役立てる。</li></ul>
-----------	---

## 5. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められた。
------------------------------